伝えたい事が半分の文章量で
2倍以上効果的に伝わる手法

IM法研修のご提案

information mapping®
making information work

2012年12月Ver.1.2

info@kozoka.info

1.IM法研修のご提案

伝えたい事が半分の文章量で
2倍以上効果的に伝わる手法

information mapping®
making information work

対象環境：

- ビジネス環境では**文章**でのやり取り中心
- 社内・社外では、多言語環境が増えている。（特に、ノンネイティブ同士のやり取りは…）
- 業務のミスの原因とは、コミュニケーション。

対応の方向性

- 文書にかかる時間（検索・理解・作成）に集中して改善・効率化するべき。
- 社内・社外での(多)言語環境でのグローバルコミュニケーション品質の向上。
- 単純な英語スキル習得よりも、実ビジネスに効果的な文章スキルの向上。

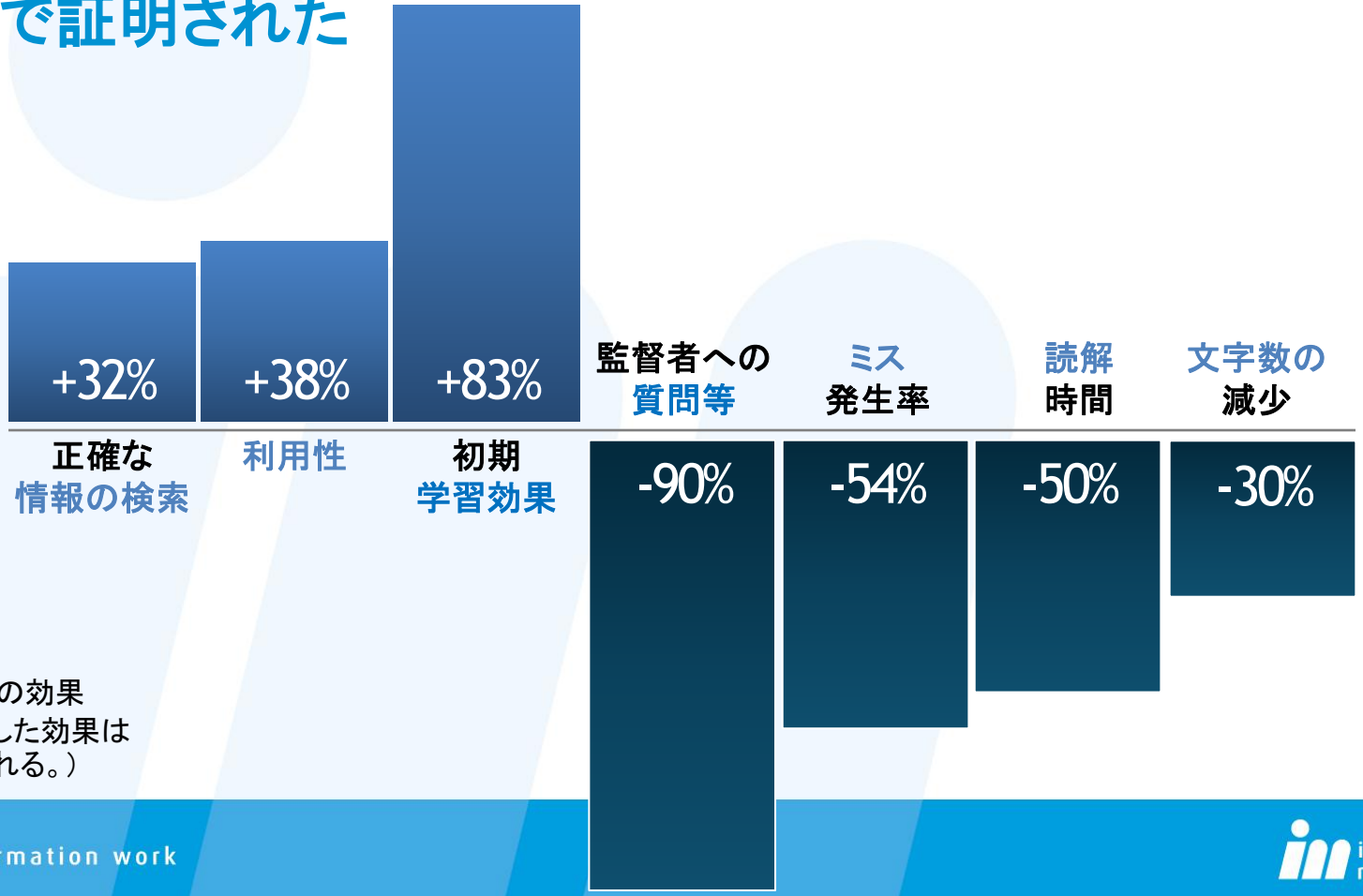
2. INFORMATION MAPPING®法：研究に裏付けされた手法

- 1967年から開始
- ロバート ホーン（Robert Horn）教授が提唱
- ハーバード大学、コロンビア大学ほか研究ベースの手法

- 研究のベース:
  - 認知心理学
  - 学習理論
  - 教育設計学
  - 有用性（ユーザービリティ）研究

3. IM法導入グローバル企業の顧客紹介（一部）

4. 研究で証明された効果



表は、母国語としての効果
（外国語として活用した効果は
より大きいと想定される。）

5. IM法の構成要素

6つの研究に基づくプリンシプル

情報を効率的に構造化することで、より早く情報を利用でき、理解でき、記憶する事が可能となります。

- CHUNKING
- CONSISTENCY
- RELEVANCE
- INTEGRATED GRAPHICS
- LABELING
- ACCESSIBLE DETAIL

6つのINFORMATION TYPES

対象情報を分析する手がかりになり、読み手の目的に応じてそれをカテゴリ分けする。

- PROCEDURE
- CONCEPT
- PROCESS
- STRUCTURE
- PRINCIPLE
- FACT

文書作成の際の構成ルールとなる

情報を正しく分類して、文書作成のルールを適用する。

効果が期待される項目および適用

導入効果

Information Mapping® を導入したことで、
企業は以下の効果があった事を、過去の研究で証明されています。

- 生産性の向上と実務実行時における効率性の向上
- 規制やルールに従った文章の作成および安全リスクの減少
- 文書コンテンツのよりよい管理と再利用性の向上
- 文書の統一化と文書およびコミュニケーションの理解度の向上
- 文書をサポートするコミュニケーション用の電話本数が減少

御社環境での適用

社内・社外のコミュニケーション文章品質の向上で

- 取扱説明書や業務マニュアルなど文書のフォーマットが統一され再利用可能に
- お客様や取引先への案内・通知文などが明快かつ効果的に統一される
- ミスコミュニケーションを解消して、業務ミスや作業時間の無駄を削減
  その他

6. 日本でのサービス提供会社について

会社名

情報構造化研究所株式会社
[Information Mapping™正規契約パートナー]

事業目的とミッション

- グローバル化環境におけるコミュニケーション向上支援
- Information Mapping™ 手法の普及

役員

- 秋山進　　プリンシプルコンサルティンググループ株式会社　代表取締役
- 加藤直人　　スカイクルージング株式会社　代表取締役
  元TOEFL® テスト日本事務局長
- 平井雅也　　セイエンタプライズ株式会社　代表取締役

連絡先

info@kozoka.info
プリンシプルコンサルティンググループ株式会社 （情報構造化研究所株式会社窓口）
東京都港区六本木2-4-5　興和六本木ビル9階 TEL：03-6426-5651　FAX：03-6426-5654

7. IM法： トレーニングメニューの紹介

Information Mapping™

Information Mapping™
基礎コース（演習クラス付き） 1日コース

Information Mapping™
マスターコース　1日コース

価格

基礎 ＋ マスター

セット料金
13.5万円
（税別）

研修種別

- **公開セミナー**
  （一般公募型）
- **プライベート型研修**
  （企業研修や特定グループ向け）

付属:
- FS Pro ソフトウェアライセンス
- オンラインテスト
- Information Mapping® Professional™ の公式認定

8. IM法研修参加者の声

【2012年日本】

- 「とてもよかった。これまで自己流でやり取りをしてきたが、IM法を使うとより効果的かつ間違いなく、やり取りができるので、これからも使っていきたい。」
- 「研修で学んだ内容が、すぐに実務に活かせました。」
- 「英語という点だけでなく、日本語でも同じ方法で文書を作成する事で効果があると思いました。」
- 「社内の文書だけでなく、社外やお客様への案内なども、IM法で発信するともっとわかりやすいと思う。」
- 「付属のソフトも特殊な知識がいらないので使いやすい。」

（一部抜粋）

**ほとんどの参加者が、すぐに効果を実感されて、
今後もInformation Mappingで学んだ事を使用してゆきたいと回答されています。**